

調査研究活動実績

氏名 依光晃一郎

今年度は、高知県政の重要課題について、幅広い視点から調査しました。また、よさこい祭りの振興、令和元年度からの森林経営管理法施行に合わせた林業振興、商工会・商工会議所の振興、自然体験型観光施策、指定管理者制度と行政改革という視点を重視しました。

本年度（30年度）の政務調査研究に関する主な活動の実績は次の通りです。

1 高知県政の重要課題について

- ・全国豊かな海づくり大会の評価への視点
- ・少子化対策への視点
- ・新たな出入国管理法改正への対応、市町村支援という視点
- ・高知県文化芸術振興ビジョンへの視点
- ・新たな管理型産業廃棄物最終処分場整備への視点

2 よさこい祭りの振興について

- ・無形文化財指定に向けての視点
- ・競演場の運営強化という視点
- ・県内小中学校での、よさこい祭りやよさこい鳴子踊りの学習という視点
- ・国際交流などにも貢献できる、よさこい鳴子踊りの教材という視点
- ・よさこい鳴子踊りを全国高等学校総合文化祭で発表を、という視点
- ・オーデピア高知図書館のよさこいコーナー強化という視点

3 林業振興について

- ・ウッドマイルズとJAS認定工場への視点
- ・地域の製材所と建築士が連携した木造住宅の普及促進への視点
- ・仮称森林環境譲与税を活用した、地域の木材利用を進めていく視点
- ・伝統的な職人の技術を残すための視点
- ・「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」の附帯決議に関する視点
- ・航空レーザー測量によるデータ収集と、本県山林全域での測量という視点
- ・森林管理に関するICT技術の利活用の状況と今後の取り組みへの視点
- ・市町村における林地台帳の効率的な活用への視点
- ・森林経営管理法の活用による、災害時の迂回路整備という視点

4 商工会、商工会議所の補助金返還について

- ・地域の商工事業者が果たしてきた役割についての視点
- ・商工会議所、商工会の財務状況についての視点
- ・高知県商工会連合会が提言で示した4つの項目についての視点

5 自然体験型観光と指定管理者制度について

- ・自然体験型観光における県外企業との連携という視点
- ・本山町の観光施設整備事業への支援内容という視点
- ・株式会社モンベルとの包括協定に対する期待という視点
- ・指定管理者の募集に関する取り組みという視点
- ・指定管理における管理代行料の積算という視点
- ・高知港の指定管理における管理代行料という視点
- ・県外企業が指定管理者になる場合のメリット、デメリットという視点
- ・公共施設において民間活力を生かす場合のアドバイスという視点
- ・経営努力により増収となった場合の指定管理者のメリットという視点
- ・観光拠点等需要調査事業を通じた企業進出の見通しという視点
- ・使用目的を失った公共施設の有効活用という視点
- ・むろと廃校水族館が成功した理由という視点
- ・香北青少年の家の修繕や新規設備投資という視点

6 行政改革の取り組みについて

- ・業務の効率化に対する職員の意識の変化という視点
- ・仕事の進捗管理に関する情報共有という視点
- ・契約事務の簡略化という視点
- ・契約事務に関する業務支援の取り組みという視点
- ・監査によるPDCAサイクルの検証を踏まえた行政運営という視点

7 物部川流域の活性化について

- ・自然・体験型観光キャンペーンにおける龍河洞の位置づけという視点
- ・鍛冶屋の学校への支援という視点